

# 両市の地域公共交通網形成計画体系図

大牟田市・荒尾市は、生活圈・経済圏を一体としているという地域特性があり、両市間の移動実態も多く見られたことから、各市で策定する地域公共交通網形成計画においても、両市間の移動を支える公共交通網の整備や利用の促進に関して、両市で連携して実施していくこととしている。

## 大牟田市地域公共交通網形成計画

### 基本方針 1

市民生活を支える公共交通の維持・確保

### 基本方針 2

周辺市町と連携した公共交通の維持・確保

指標・目標値(案)

路線バス利用者数(西鉄バス大牟田市内線) 31万2千人 → 31万2千人  
 路線バス利用者数(西鉄バスグリーンランド線) 15万人 → 15万人  
 路線バス1日当たり運行便数(上記2路線) 77便/日 → 77便/日  
 荒尾駅～大牟田駅間の鉄道本数 平成30年春ダイヤ改正時の本数の維持

### 基本方針 3

利用促進策・利用機会創出策の推進

### 目標を達成するための事業

- 事業1 市内路線バスの維持確保
- 事業2 観光施設へアクセスする路線の確保(施設アクセス)
- 事業3 観光施設へアクセスする路線の確保(広域周遊)
- 事業4 公共交通空白地の解消に向けた検討
- 事業5 交通手段間の連携の検討
- 事業6 待合環境の改善
- 事業7 わかりやすい中心部路線の検討
- 事業8 地域間路線バスの維持確保
- 事業9 鉄道とバスの乗継利便性の向上
- 事業10 利用促進に向けた活動実施や情報提供の充実

### 取組み内容(共通部分のみ)

観光施設群や交通施設(駅、高速船乗り場)を結ぶ周遊交通(観光タクシー等)の導入の検討・実施

公共交通での観光施設アクセスの案内(案内サイン、路線や時刻表による情報発信、Webでの情報発信等)充実の検討・実施

現状の鉄道と路線バスの運行本数の維持

地域間移動の拡充検討

地域間乗継拠点(倉掛バス停)における接続改善

周辺市町と連携した公共交通利用促進

## 荒尾市地域公共交通網形成計画

### 基本的な方針 1

市内の移動ニーズに対応した利便性の高い公共交通網の構築

### 基本的な方針 2

広域的な移動コースに対応した隣接市町との連携による円滑な動線の確保

数値目標(案)

路線バス利用者数(西鉄バス大牟田市内線) 31万2千人 → 31万2千人  
 路線バス利用者数(西鉄バスグリーンランド線) 15万人 → 15万人  
 路線バス1日当たり運行便数(上記2路線) 77便/日 → 77便/日  
 荒尾駅～大牟田駅間の鉄道本数 平成30年春ダイヤ改正時の本数の維持

### 基本的な方針 3

公共交通の新たな利用者の獲得とリピーターの確保

### 基本的な方針 4

効率的で持続可能な公共交通事業の運営

### 具体的な施策

- 1-① 高齢者等の市内の移動実態に合った公共交通網の編成
- 1-② 公共交通軸の明確化と乗継環境の改善
- 2-① 市域を越えた日常的な移動実態に合った動線の確保
- 2-② 市域を越えた観光周遊を支える動線の確保
- 2-③ 異なる交通事業者を結び分かりやすい情報発信
- 3-① 高校生や高齢者等の公共交通利用への転換
- 3-② 観光来訪者の移動実態に合わせた鉄道駅と市内観光施設のアクセス性の向上
- 3-③ 公共交通初心者にも分かりやすい情報発信と利用促進
- 4-① 運行の効率化と経営資源の確保

### 事務事業(共通部分のみ)

乗継拠点における接続の改善

異なる事業者間の乗継ぎに関する情報発信の強化

市外商業施設等へのアクセス強化検討

周遊観光に対応した移動手段の確保

FMたんとなどを活用した情報発信の実施